www.mpeg.co.jp

●MXFファイル作成・編集ソフトウェア

theScribe

【画面イメージ】

theScribe は、MXFファイル作成、メタデータ表示・編集ができる強力なMXF編集ソフトウェアです。
各種エッセンス・フォーマット、オペレーショナルパタン、DMS-1に対応し、簡単な操作と編集環境でMXFファイル作成、編集を実現します。
各種規格に忠実に対応しているため、業界標準の正しいMXFファイル作成ツールとして安心してご導入いただけます。

Product Description

- **多くのエッセンスフォーマットに対応。**
- **標準化されたオペレーショナルパタンすべてに対応。**
- **メタデータ標準DMS-1の3つのフレームワークすべてに対応。**
- **UMID自動生成。**
- **プレイヤー機能内蔵。MXFファイル内の映像を再生確認可能。**
- **ストーリーボード機能で時間軸方向のメタデータも表示可能。**
- **同じタイトルの違うバージョンを持つことも可能。**
- **ソニーe-VTRとシームレスに連携。（プラグイン標準バンドル）**

【メイン画面】

Copyrights 2004 MOG Solutions & IBE Inc. All Rights Reserved

mpeg.co.jp presents

theScribe 主な機能

MXF 入力/出力	様々なエッセンスフォーマット (D10, DV/DIF, MPEG-2 PS/TS(HD解像度を含む) , MPEG1/2 Video, MPEG1 Audio, AES3 and Broadcast Wave) に対応したMXFファイルを作成できます。 **theScrbe**は、ファイル作成中にエッセンスフォーマットを検出し、MXFファイルに持たせるべきテクニカルメタデータを自動的に作成します。
MXFメタデータ更新	ファイルサイズに関わらず、既存ファイル中のメタデータのみを更新することができます。このとき、改めてMXFファイルを作成し直す必要がありませんので、効率的にメタデータの更新が行えます。
コンテンツのメタデータをDMS-1で記述	**theScribe**は、MXF DMS-1 (Descriptive Metadata Scheme 1の略。SMPTE-380M規格。) に従うもので、以下の3つのメタデータフレームワーク全てに対応しています。 **■DMS-1 Production Framework:** DMS-1 プロダクションフレームワーク (Production Framework) とは、コンテンツを部分的に細かく注視せず、全体としての内容を表示するメタデータのことです。(著作) 権利情報や番組関連情報、全体的な説明文等、コンテンツ全体にかかわる情報を記載しておくことができます。 **■DMS-1 Scene Framework:** DMS-1 シーンフレームワーク (Scene Framework) とは、映像コンテンツの個々のシーンが持つ動きや事象を表します。これは、**theScribe**上で、マルチビューストーリーボードとして表示されます。例えば、それぞれのシーンにおける関係者やその役割というような詳細情報を記載することも可能です。そしてこれらの情報は全て、フレーム精度でエッセンスフォーマットと同期させることができます。このメタデータは、コンテンツ内のある特定のシーンを見つける時に大変有効です。 **■DMS-1 Clip Framework:** DMS-1 クリップフレームワーク (Clip Framework) とは、制作者や使用された機器など、収録・制作に関するメタデータです。
自動ローカルUMID作成	**theScribe**は、必要に応じて、MXFファイル中にUMIDを自動的に作成します。このUMIDは、PC上で個別に作成されます。つまり、登録機関にコンタクトする必要がありません。
独自メタデータスキーム対応	互換性を保証するためにはDMS-1の使用を推奨しますが、拡張する必要があるかもしれません。あるいは、MXFファイル中に、全く独自のメタデータを加える必要が出てくるかもしれません。 そのような場合は、㈱アイ・ビー・イーにご遠慮なくご連絡ください。
MXFオペレーションパターン完全対応	OP[1-3][a-c] やOPAtomまで全てに対応しています。
マルチバージョン対応	同タイトルで異なるバージョンを持つこともできます。各バージョンで、メタデータとエッセンスフォーマットを選択することができます。複数言語コンテンツ配布には、理想的です。
ファイル更新履歴	ファイル更新者、日時、使用ツールなどの履歴を確認することができます。
メタデータ閲覧のための拡張表示モード	MXFファイルメタデータを全て閲覧することができます。閲覧できるデータは、MXF構造メタデータつまりファイル論理構造も含みます。
エッセンスファイルの閲覧	それぞれのエッセンスフォーマットで使用されるファイル拡張子を設定できます。
オーディオチャンネルの選択	SONY e-VTR MXFファイルの場合は、聞きたいオーディオチャンネルを選択できます。
印刷対応	キーフレームを利用することで、異なるMXFストーリーボードビューも含めて、全てのメタデータビューを印刷できます。
MXFデバイスと連動するプラグイン	既にSONY e-VTRプラグインが付属しています。e-VTRが、ちょうどネットワークドライブのように働きます。

theScribe 仕様

システム	**Microsoft Windows XPの場合**: Microsoft Windows Media Player 9 が動作する環境。 **Microsoft Windows 2000の場合**: Microsoft Windows Media Player 9 /Microsoft Internet Explorer 6 以降/ Microsoft DirectX 8.1ランタイム以降が動作する環境。 ※Windows 9x系での動作保証はいたしません。
CPU	Intel Pentium4 相当以上を推奨
メモリ	512MB以上

⚠安全にお使いいただくために取扱説明書、説明員の指示に従い正しくお使いください。

●詳しい動作環境、仕様等は弊社担当にお問い合わせください。
●仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。
●本文中で使用している商品名は各社の登録商標です。
●本書で使用している図や表現方法は説明用のもので、実際のものと異なる場合があります。
●画面ははめ込み合成です。

お問い合わせ: **株式会社アイ・ビー・イー**
〒102-0084 **東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア5F**
Tel: 03-3556-2612 | Fax: 03-3556-2622
URL:http://www.mpeg.co.jp | E-mail:mpeg@mpeg.co.jp

*仕様などは、改良のため変更されることがあります。
本カタログ記載の商品名・商標は各社の商標または登録商標です。

2004.11.1